

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公表番号】特表 2019-525795 (P2019-525795A)  
 【公表日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-037  
 【出願番号】特願 2018-568892 (P2018-568892)  
 【国際特許分類】

A 6 1 M 35/00 (2006.01)

A 6 1 M 39/10 (2006.01)

A 6 1 J 1/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 35/00

A 6 1 M 39/10 1 0 0

A 6 1 J 1/05 3 1 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療用製品の滴下のための医療用デバイス (100) であって、

- 中空円筒形の本体 (10) と、  
 - 前記中空円筒形の本体 (10) の内側で摺動自在に移動でき、かつ、ゴムワッシャ (40) が固定される頭部 (21) を備える、ロッド (30) であって、前記ワッシャは、前記ロッド (30) の摺動中、前記中空円筒形の本体 (10) の内表面に接触しており、異なる直径の 2 つの部分 (22、24) として形成されるロッド (30) とから成り、

- 前記デバイス (100) が、中空円筒形の本体 (10) とロッド (20) との間に、前記ロッド (20) のより大きい円形断面を持つ前記部分 (22) の通過を妨げる止め具 (32) が設けられる密閉ブッシュ (30) を備え、前記密閉ブッシュ (30) は、前記中空円筒形の本体 (10) 内に形成された相補的なかみ合い結合する手段 (17) と協働するように構成されたかみ合い結合する手段 (34) を備えることを特徴とするデバイス (100)。

【請求項 2】

前記中空円筒形の本体 (10) は、前記中空円筒形の本体 (10) の内径よりも小さい内径を持つ前端部分 (12) を有し、機械的な止め具 (19) が、前記前端部分 (12) 上に画定されている請求項 1 に記載のデバイス (100)。

【請求項 3】

前記ロッド (20) のより大きい円形断面を持つ前記部分 (22) は、前記止め具 (32) と前記機械的な止め具 (19) との間に限定されたストロークを有する請求項 2 に記載のデバイス (100)。

【請求項 4】

前記前端部分 (12) は、使用者による前記デバイス (100) の把持を改善するように設計された多角形の形状の外表面 (15) を有する請求項 2 または 3 に記載のデバイス

( 1 0 0 )。

【請求項 5】

前記中空円筒形の本体 ( 1 0 ) は、前記密閉ブッシュ ( 3 0 ) を収容するための座 ( 1 3 ) を画定する後端部分 ( 1 4 ) を有する請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。

【請求項 6】

前記密閉ブッシュ ( 3 0 ) の前記かみ合い結合する手段 ( 3 4 ) は、前記密閉ブッシュの外表面 ( 3 3 ) 上に形成された 1 対の溝 ( 3 4 ) から成り、前記中空円筒形の本体 ( 1 0 ) の前記相補的なかみ合い結合する手段 ( 1 7 ) は、前記中空円筒形の本体 ( 1 0 ) の前記後端部分 ( 1 4 ) の内表面 ( 1 8 ) 上に形成されたリブ ( 1 7 ) から成り、またはその逆である請求項 1 に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。

【請求項 7】

前記ロッド ( 2 0 ) の自由端部 ( 2 6 ) において前記ロッド ( 2 0 ) と結合され得るスライダ ( 5 0 ) も備える請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。

【請求項 8】

前記スライダ ( 5 0 ) は、前記ロッド ( 2 0 ) の前記自由端部 ( 2 6 ) を収容するための座 ( 5 1 ) を画定する中空の本体 ( 5 2 ) を備える請求項 7 に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。

【請求項 9】

前記スライダ ( 5 0 ) は、前記ロッド ( 2 0 ) に形成された相補的なかみ合い結合する手段 ( 2 7 ) と協働するように構成された少なくとも 1 つのかみ合い結合する手段 ( 5 3 ) を有する請求項 8 に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。

【請求項 1 0】

前記スライダ ( 5 0 ) の前記かみ合い結合する手段 ( 5 3 ) は、前記座 ( 5 1 ) の内表面上に形成された 1 対の溝 ( 5 3 ) から成り、前記ロッド ( 2 0 ) の前記相補的なかみ合い結合する手段 ( 2 7 ) は、前記ロッド ( 2 0 ) の前記自由端部 ( 2 6 ) に形成された 1 対のリブ ( 2 7 ) から成り、またはその逆である請求項 9 に記載のデバイス ( 1 0 0 ) 。